

# 令和4年度（2022年度）行政評価シート

令和4年7月28日

評価者	環境部長 能條 裕子
-----	------------

## ○ 施策の概要

総合計画上の位置付け	分野 3-(3) 生活環境	施策の方針	3-(3)-②快適な生活環境の保全
目標とするまちの姿	<p>快適な生活環境を維持するために、大気汚染、水質汚濁、騒音等の公害発生を抑制するとともに公衆トイレの衛生管理、ごみの散乱や落書きのないまちの美化活動など、市民・NPO・事業者等、それぞれの自発的な環境汚染防止や海岸の環境保全に向けた活動が進められています。また、動物愛護精神の普及・啓発と有害外来動物の防除に取り組み、動物や自然環境と人の暮らしが調和したまちとなっています。</p>		
主な取組	<p>(1)環境汚染防止への対応 環境調査による大気、水質、騒音等の状況の監視や、法令に基づく事業者等への立入調査を行うとともに、公害発生の未然防止を図るため、事業者等への周知啓発に取り組むことで、環境汚染のない、快適な生活環境を確保します。また、市民一人ひとりが日頃から環境汚染の防止を意識した行動を日常生活や地域活動の中から行えるよう普及啓発を行います。</p> <p>(2)まち美化活動の推進 市民やNPO等との協働によるまち美化活動を実施することで、ごみの散乱や落書きのないまちづくりに取り組むとともに、市民のまち美化に対する意識やまち美化活動を発信することで、まち美化活動の担い手の育成をはじめ、来訪者へのごみの持ち帰りなどのマナー向上への取組など、まちの美化に対する意識の向上を図ります。 また、受動喫煙防止の観点から、路上での全面禁煙に向けた取組を進めます。 多くの観光客が利用する公衆トイレの清掃と設備の維持管理を行い、だれもが快適に利用できる環境の維持に努めます。</p> <p>(3)野生鳥獣等への対応 犬猫等のペットの飼育マナーの向上に取り組む、動物愛護精神の普及・啓発を推進します。また、有害外来動物による被害発生を予防するために駆除を実施するとともに、餌付け等の防止の周知啓発を行い、野生鳥獣の保護を推進します。</p> <p>(4)海浜の保全と活用 ごみの散乱のない良好な海浜を保つため、海岸清掃を継続して実施するとともに、適正な海岸利用を維持する取組の推進や、漂着ごみ・海中ごみ等の回収及び処分等について、県や関係機関と連携して、その対応を図ります。</p>		

## 1 成果指標

成果指標①	まちがきれいに保たれていると感じている市民の割合					出典	市民アンケート調査		
初期値	単位	年次	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	備考
令和2年1月	%	目標値	77.0	79.0	81.0	84.0	87.0	90.0	
75.2		実績値	未実施	77.0					
		達成率	—	97.5%					
成果指標②	有害外来動物の駆除件数					出典	所管課調べ		
初期値	単位	年次	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	備考
平成25年度から平成30年度(平均駆除件数)	件	目標値	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	
(タイワンリス) 1,000		実績値	1,268	1,092					
		達成率	126.8%	109.2%					

成果指標②		有害外来動物の駆除件数					出典	所管課調べ		
初期値	単位	年次	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	備考	
平成25年度から平成30年度(平均駆除件数)	件	目標値	150	150	150	150	150	150	ここ数年は、人家への出没が増加しており、これに対応して早急に駆除しているため、目標値を大幅に超えている。	
(アライグマ) 150		実績値	252	244						
		達成率	168.0%	162.7%						

成果指標②		有害外来動物の駆除件数					出典	所管課調べ		
初期値	単位	年次	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	備考	
平成25年度から平成30年度(平均駆除件数)	件	目標値	90	90	90	90	90	90		
(ハクビシン) 90		実績値	96	81						
		達成率	106.7%	90.0%						

## 2 投入コスト

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
事業費	121,496	150,426				
人件費	142,330	149,786				
総事業費	263,826	300,212				

## 3 担当部評価

### (1)「施策の方針の成果指標」の達成状況等を踏まえた施策の達成状況の分析

#### 環境部

事業所から発生する公害を防止するための助言等やごみの散乱のない環境づくりの施策の実施に努めたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、美化活動や啓発キャンペーンが中止となり、成果指標の達成には至らなかった。

ペットの飼育マナーの向上、動物愛護精神の普及・啓発を推進するため、獣医師、動物保護団体及び鎌倉保健福祉事務所等の関係機関と連携した取組を実施した。ここ数年は、有害外来動物の人家への出没が増加しており、これに対応して早急に駆除しているため、目標値を大幅に超えている。

### (2)今後の方向性

#### 環境部

新型コロナウイルス感染症の影響による在宅機会の増加に伴い、快適な生活環境の保全に対するニーズが更に高まっていることから、関係機関等と連携を図りながら、生活環境の保全に資する事業を着実に執行する。また、まち美化の取組は短期的な成果を求めるものではないことから、美化活動や啓発キャンペーン等を地道に継続していく。

ペットの飼育マナーを広く浸透させるために、関係機関と連携した地道な取組を継続して実施する。有害外来動物の駆除に継続して取り組むとともに、生活環境への侵入対策の周知に取り組む。

### (3)施策の方針にひもづく事務事業の評価結果

重点事業	整理番号	事業名	法定受託事務	事業費(千円)	人件費(千円)	総事業費(千円)	事業評価	貢献度	最終評価
	環境-06	し尿収集事業		5,968	5,094	11,062	現状維持	A	現状維持
	環境-12	ダイオキシン類削減対策施設整備事業		3,004	1,517	4,521	休止・廃止	A	休止・廃止
	環境-14	公害等対策事業		4,716	30,348	35,064	現状維持	A	現状維持
	環境-15	衛生・害虫駆除事業		2,228	8,237	10,465	現状維持	A	現状維持

重点事業	整理番号	事業名	法定受託事務	事業費(千円)	人件費(千円)	総事業費(千円)	事業評価	貢献度	最終評価
	環境-16	まちの美化推進事業		59,864	20,268	80,132	現状維持	A	現状維持
	環境-17	動物愛護推進事業		2,511	15,281	17,792	現状維持	A	現状維持
	環境-18	鳥獣保護管理対策事業		8,456	13,981	22,437	現状維持	A	現状維持
	環境-19	海岸清掃事業		15,361	15,174	30,535	現状維持	A	現状維持
	環境-20	海浜保全事業		422	12,031	12,453	現状維持	A	現状維持
	環境-26	深沢クリーンセンター管理運営事業		47,896	27,855	75,751	現状維持	A	現状維持

#### (4) 貢献度に関する分析

##### 環境部

快適な生活環境を保全するためには、公害の発生抑制、公衆トイレの衛生管理、まちの美化活動、海岸保全、動物愛護など多岐にわたる事業を市民や事業者との協働の下、継続して実施することが重要であり、その取組に終わりはない。いずれの事業も目標とするまちの姿の達成のために貢献度が高いと考え、3事業の選定にあたっては事業費を基準として構成割合が高いものを選定した。

##### 環境16 まちの美化推進事業

市内38箇所の公衆トイレの清掃、たばこのポイ捨ての要因となる路上喫煙を防止するための巡回啓発等を行った。また、コロナ禍で大規模なクリーンアップキャンペーンの実施が困難な中、アダプトプログラム実施団体や自治町内会による清掃活動への支援、落書き防止団体との連携によるまちの環境保全に努めた。更に従来から地域で問題となっていた、いわゆるごみ屋敷に対し、行政代執行も視野に訪問指導を通算100回以上実施した結果、不良な状態を改善することができた。以上のことから貢献度をAとした。

##### 環境19 海岸清掃事業

相模湾沿岸13市町と神奈川県によって設立された「公益社団法人かながわ海岸美化財団」に委託し、日常的な海岸清掃業務を行った。世界的な課題となっている海洋プラスチックごみについては、大半が陸上由来であるとされており、神奈川県の海洋プラスチックごみについても同様であることが県環境科学センターの調査結果として示されている。

プラスチックごみは海洋に流出してしまったり、波の影響でマイクロ化してしまうと回収が困難となることから、日常的な海岸清掃が重要となり、その他の人工ごみについても海岸での頻繁な回収が必要である。同財団に委託して神奈川県内の海岸を一括して清掃することにより、市町村単独で実施するよりも効率性や効果が高まることから貢献度をAとした。

##### 環境26 深沢クリーンセンター管理運営事業

公共下水道の普及により、し尿受け入れ量は年々減少しているが、公衆衛生上必要不可欠な施設であり、老朽化している施設を適正に維持管理し、滞りなく施設運営を行うことができたため、貢献度をAとした。